

## 店舗の売上高やコストを集計し、経営状況を可視化 『Air メイト』、『Air インボイス』とデータ連携開始 新たに原材料費や光熱費などの支出も、自動で反映可能に

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）は、お店の経営アシスタント『Air メイト』と、振り込みも保管もラクになる請求書支払いアプリ『Air インボイス』のデータ連携を本日より開始いたします。『Air メイト』は、売上高や来店客数、人件費などのデータを自動で集計し、経営状況を可視化するサービスです。これまでも他サービスと連携していましたが、今回の連携により、『Air インボイス』で取り込んだ請求書支払いのデータも『Air メイト』に自動で反映されるため、原材料費や光熱費などの支出管理も、時間や工数をかけずにできるようになります。『Air メイト』はすでに法人カードの『Air カード』と連携しているため、クレジットカードと請求書のどちらで支払った場合でも、自動でコストの集計ができるようになります。



### 1. 取り組み概要

今回、『Air メイト』が連携する『Air インボイス』は、請求書をスマホで撮影すると、振り込みに必要な情報が自動でデータ化されるアプリです。振り込み予約から実行までをスマホ一つで完結できます。これまで、『Air メイト』を導入していた店舗が、原材料費や光熱費などの支出管理をするためには、手作業での入力が必要な場合もありました。本日より開始する両サービスのデータ連携により、『Air インボイス』で取り込んだ請求書の支払いデータが、自動で『Air メイト』に反映されるようになります。複数の店舗を営んでいる事業者の場合、どの店舗宛での請求書なのかも『Air インボイス』にて自動で割り振られるため、『Air メイト』上で計上店舗の指定をする作業も不要です。また、勘定科目も『Air メイト』が自動で推測し、カテゴリ分けを行います。

『Air メイト』は、すでに POS レジアプリの『Air レジ』やシフト管理サービスの『Air シフト』と連携しているため、売上高や人件費のデータを自動で反映できます。加えて、今回の『Air インボイス』や、従来からの『Air カード』との連携により、店舗全体の収支管理が時間や工数をかけずに可能となります。より手間なく一気通貫したサービスを提供することで、経営状況の可視化ができるようになり、売上高増加やコスト適正化にもつなげられます。

本件に関する

お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

## サービス詳細

本機能は無料で利用可能（『Air メイト』は無料、『Air インボイス』は最初の2 カ月無料）

## 2. 提供の背景

当社が 2023 年 3 月に実施した「飲食店経営者の DX に対する興味・関心と導入状況の実態調査」<sup>※1</sup>では、「食材費の削減/最適化」を経営課題にあげる経営者が 28.7%で、前年調査との比較において最も増加した（+4.4 ポイント）項目となっております。原材料費の高騰化<sup>※2</sup>の影響が大きい中、どのように経営状況を改善するか、何にお金を使うべきかなど、適正かつスピーディーに分析することが重要だと考えられます。一方、アナログな収支管理に対する煩わしさがハードルとなり、日次や週次で経営状況を把握できない店舗も多いと考えられます。そこで、このような状況を解決すべく、収支管理の業務効率を改善するため『Air インボイス』とのデータ連携に至りました。現在の経営状況を正確に把握し、対策を講じる PDCA サイクルを素早く回していただけるよう、これからも店舗経営をサポートしていきたいと考えています。

※1：リクルート『ホットペッパーグルメ』外食総研「飲食店経営者の DX に対する興味・関心と導入状況の実態調査（2023 年 3 月調査）」[https://www.recruit.co.jp/newsroom/pressrelease/assets/20230518\\_gourmet\\_01.pdf](https://www.recruit.co.jp/newsroom/pressrelease/assets/20230518_gourmet_01.pdf)

※2：総務省「2020 年基準 消費者物価指数 全国 2023 年 12 月分及び 2023 年平均」

<https://www.stat.go.jp/data/cpi/sokuhou/tsuki/pdf/zenkoku.pdf>

## 3. 『Air メイト』担当者コメント



小林 兼太（こばやし けんた）※ご取材可能  
株式会社リクルート プロダクト統括本部 所属  
『Air メイト』プロダクト担当者

戦略コンサルタントとして経営計画や新規事業構想の策定に従事した後、リクルートに入社。『Air レジ』『Air ペイ』『Air シフト』をはじめとしたリクルートの業務・経営支援サービス「Air ビジネスツールズ」全体の事業企画をリード。「Air ビジネスツールズ」から得られるさまざまなデータを組み合わせることで、新たな価値をクライアントに提供すべく、2022 年より現職。

### 店舗の収支管理を手間なく可視化することで、経営改善をサポート

お店の経営アシスタント『Air メイト』は、『Air レジ』や『Air レジ オーダー』、『Air シフト』、『レストランボード』、『ホットペッパーグルメ』『Air カード』とデータ連携し、収支の確認や分析、振り返りといった店舗経営に必要な業務をトータルに行えるサービスとして、お店の経営管理をサポートしています。

『Air メイト』に自動連携できるサービスは年々増加しており、『Air レジ』の売り上げデータや『Air シフト』の人件費データ、『Air カード』の支払いデータなどを組み合わせることで、収支全体の把握ができるサービスへと機能改善を進めてまいりました。一方で、原価などの管理において、『Air カード』のデータだけでは、クレジットカードで支払う一部のコストにしか対応できないため、請求書での支払いコストも自動反映できるようにならないか、という声もいただいていた。

今回の『Air インボイス』との連携により、クレジットカードだけでなく、請求書で支払ったコストについても『Air メイト』に自動反映されるようになります。そのため、原材料費の高騰によりコストの適正化に課題を持っている事業者に対して、手間なく、スピーディーに収支を可視化する方法を提供できるようになると考えています。

#### 4. 『Air インボイス』担当者プロフィール



浅野 恭兵（あさの きょうへい）※ご取材可能  
株式会社リクルート プロダクト統括本部 所属  
『Air インボイス』サービス担当者

リクルート入社後、美容領域・「Air ビジネスツールズ」のサービス企画に従事。飲食店、美容室、小売店など、幅広く中小事業者の現場に足を運び対話する中で、請求書の処理が多くのおオーナーを煩わせていることに気付く。その後も中小事業者の現場で仮説検証を進め、『Air インボイス』の立ち上げに至る。

#### 5. 『Air メイト』とは

『Air メイト』は、店舗経営の「改善の仕組み」を提供する、お店の経営アシスタントです。日常の業務を行うだけで売り上げ・人件費・原価などのデータが集計・分析されるので、データに基づいた店舗経営が可能になります。2018年4月にサービスの提供を開始し、データを活用して利益最大化を目指す店舗を中心に導入が進んでいます。

『Air メイト』があれば、計画・集計・状況確認・分析・振り返りといった、店舗経営に必要な業務をトータルで行うことができます。また、経営課題を可視化できるので、店長の経営意識も育ちます。導入したお店からは、「これまで肌感覚でしか認識していなかった指標をすぐに確認できるようになった」「日報作成のカンタンさと振り返り分析のしやすさは抜群」などの声を頂いています。

『Air メイト』は、0円でカンタンに使えるPOSレジアプリ『Air レジ』や、0円からカンタンに利用できる集客と接客に効く予約台帳アプリ『レストランボード』、やりとりも作成もラクになるシフト管理サービス『Air シフト』などのAir ビジネスツールズのサービスと一緒に使うことで、より詳細に経営状況を分析できます。

#### 6. 『Air インボイス』とは

『Air インボイス』は、振り込みも保管もラクになる請求書支払いアプリです。請求書をスマホで撮影するとアプリが振り込みに必要な情報を自動でデータ化、そのまま支払いも可能です。振り込み手数料は業界最安値<sup>※3</sup>。

『Air インボイス』があれば、アプリが振り込み件数や支払い期日をチェックしてお知らせするので、支払い忘れや支払い遅延の不安から解放されます。

2022年7月27日（水）にサービスを開始し、利用した方からは、「請求書が届いた瞬間、スマホで撮影するだけなので、請求書の整理や振り込みを忘れなくなった」「事務作業にかけていた時間が減り、お店のことを考える時間が増えた」などの声をいただいています。

『Air インボイス』も含む「Air ビジネスツールズ」では、予約・受付管理、会計、決済から人材採用、シフト管理、資金調達や請求書管理まで、事業運営のアナログな業務にかかる、手間、時間、コストを軽減できます。

私たちは、事業を営む皆さまの「思い描く事業運営や自分らしいお店づくり」を、これからも支援し続けます。

詳細は『Air インボイス』Webサイト (<https://airregi.jp/invoice/>) をご確認ください。

※3：①調査主体：株式会社リクルート②調査実施機関：株式会社 東京商工リサーチ（2022年11月28日（月）時点）③比較条件：銀行133行(\*)の通常時の他行宛での振り込み手数料で比較（条件付きの振り込み手数料は考慮せず）

(\*)金融庁、免許・許可・登録等を受けている業者一覧のうち、預金取扱等金融機関で銀行として登録されているもの。外国銀行支店を除く133行

## Air ビジネスツールの紹介

Air ビジネスツールは本年、サービス開始から10周年を迎えました。各サービスのご紹介に加え、10年間の歩みや導入事業者の声、社会課題の解決に役立った事例等を掲載したWebサイトも開設しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://airregi.jp/brand/>

## リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>